

平成 28 年度実績に係る部局評価書

部局名： ナノサイエンスデザイン教育研究センター

【評価区分1】 部局年度計画に係る 自己評価に対する評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」に おける年度毎の状況評価】	【総合評価】 評価区分1及び評価区分2 に基づく評価
S	A	S

【評価区分1:部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項 目	評 定	コメント(評定に至った理由)
【教育】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 本学と筑波大学連携のサマースクール(ベルリン工科大学、パリ第 6 大学 よりの講師を招へい)の単位化を実現したことが評価できる。
【研究】	S	平成 28 年度計画に対して、取組状況が優れていることが認められる。 関西ナノテクネットワークに神戸大学、兵庫県立大学が組織として新たに参 画し、正式構成組織が5大学と3公設研究所に拡大したことが評価できる。
【社会貢献】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【グローバル化 】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【業務運営】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。
【広報】	A	平成 28 年度計画に対して、取組状況が良好であることが認められる。